

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 担い手経営体支援チームによる支援 JA名 JAバンク宮城（宮城県）

1 動機 （経緯）	<p>本県では、東日本大震災により沿岸部の 5 JA が甚大な被害を受け、農地の復旧を含め、農業者の営農再開に対する支援が大きな課題となっています。また、集落営農組織の設立や法人化により、担い手の大規模化が進み、支援の拡充が求められる状況にあります。</p> <p>こうした状況において、沿岸部の 5 JA への重点的な支援と、担い手サポート機能の拡充・強化を図ることを目的として、担い手経営体支援チームを結成しました。</p>
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA グループ宮城として、中央会、全農、共済連、金庫仙台支店により、担い手経営体支援チームを結成しました。 ・ 月次検討会を開催し、各 JA 管内の担い手について、現状や課題の共有、支援の進捗状況の確認を行っています。 ・ 営農相談支援員を配置し、担い手のニーズ把握や個別対応を強化しています。
3 成果 （効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA グループとして、担い手支援を関係部署間で共通の課題として認識するとともに、担い手のニーズに対し、各事業を横断した総合的な視点から、支援の検討・実施をしています。 ・ JA と連携し、専門家（社労士、税理士等）を招いた現地相談会の実施や、地域の農業法人を対象とした研修会の開催等、担い手のニーズに応じた支援を行っています。
4 今後の予定 （課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「担い手総合サポートセンター」を設立し、担い手支援チームの取り組みの拡充、強化を行っていきます。 ・ 内陸部の 9 JA にも取り組みを展開し、県域全体として担い手支援を実践していきます。